

(様式 4)

令和 7 年 6 月 12 日

令和 7 年度 第 1 回 大阪市立花乃井中学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立花乃井中学校
校 園 長 名 西 田 知 浩

日 時	令和 7 年 6 月 9 日 (月) 午後 6 時 30 分～午後 8 時 00 分	
場 所	大阪市立花乃井中学校 多目的室 (6 階)	
出席者	委員 など	尾松 正章 (会長)、原田 博司 (委員)、石川久留美 (委員)、野島 淳 (委員)、 山住 智則 (委員)、小林 基之 (委員)、岩佐 俊治 (委員)
	学校	西田 知浩 (校長)、上野 元義 (副校長)、金森 健太 (教頭)
	区役所	川楠 政宏 (教育担当課長)
議 題	(1) 「運営に関する計画」 (策定) について (2) 学校の現状について (3) 今後の予定・その他	
協 議 要 旨	協議の結果	意見の概要
	(1) ○「運営に関する計画」 (策定) について、学校協議会委員から了承をいただいた。	○教職員が策定に参加し、設定数値にこだわる流れは、習慣化すれば非常にいい流れである。 ○働き方改革について、時間外勤務時間の削減の結果が、ゆるやかに出ていることを知れた。また、環境整備として電話対応可能時間の短縮も対策の一つである。 ○毎年課題としている学習者用端末の活用について、母集団が原因で目標数値を達成することが難しいことは理解できるが、出席生徒全員による「心の天気」の回答や家庭学習での活用により、数値が伸びることを期待している。 ○学習者用端末の活用を推進する理由は納得できるが、辞書、鉛筆を使う文化を失わず、教育活動に少しでも取り込んでほしい。また、漢字が書けないという課題解消のためにも、書く習慣を授業や家庭学習に取り入れてほしい。 ○家庭学習の量について、2 年前は増やす対応、昨年は自主性を重んじ減らす対応をとっていたが、自学への自主性を育むための初動は、やはり学校側で行い、後に家庭への協力も求めていくことが必要である。
協 議 資 料	○令和 7 年度「運営に関する計画」	
備 考	傍聴者[0]名	